

# ウメモト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他( )

2021年 / 月 21日

担当者: 若崎

## 原油生産量が半年間増

### OPEC 2020年12月2559万バレル/日

【ロンドン】OPEC (石油輸出国機構) の原油生産量が2020年12月、6カ月連続で増加したことが明らかになった。情報筋によると、OPEC 13カ

国計は前月比28万バレル増加し、2559万バレルに達したという。内戦が一時落ち着いているリビアで最多の15万バレル増の125万バレルに達したほか、U

AE (アラブ首長国連邦) でも目標を下回ったものの7万バレル増加した。イラク、ナイジリア、アンゴラ、イランもやや増加。サウジアラビア、クウェー

ト、アルジェリアなどはほぼ横ばいだった。米国の制裁措置のもとにあるベネズエラはわずかに減少とした。一方、OPECプラスの協定に参加している加盟国の減産順守率は12月、前月の102%から8月以来の最低水準99%まで低下したという。

# ウメモト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他( )

2021年 / 月 / 日 担当者: 芳崎

## 原油生産量を下方修正

### 全米2021年 19万バレル減へ

EIA見通す

【ニューヨーク】EIA（米エネルギー情報局）は12日、2021年の全米の原油生産量の見通しを下方修正したことを明らかにした。2021年、前回の前年比24万バレル減の予想に対して19万バレル減とし、1110万バレルになる見込みだという。2022年は39万バレル増の1149万バレルの見通しとした。

下方修正は、新型コロナウイルスの変異種発生の影響により、米原油先物の上昇が減速していることを考慮したという。

2021年の全米の

石油需要の見通しは前回の前年比163万バレル増予想に対し145万バレル増の1951万バレルへ、世界も前回の580万バレル増予想から560万バレル増の977万バレルへそれぞれ修正したとした。



## 昭和産業、3月から油脂製品値上げ

昭和産業は原材料価格の上昇などを受け、3月1日納品分から家庭用と業務用の油脂製品の価格を引き上げると発表した。

家庭用汎用油は1キログラムあたり30円以上値上げする。値上げは2020年4月以来、約1年ぶりとなる。

新型コロナウイルスやアフリカ豚熱（ASF）による不調から回復してきている中国を中心に大豆や菜種、パーム油の需要が高まっている。一方で、天候不順による生育状況の悪化で減産が懸念されるなどで原料相場が大幅に上昇していることが価格改定の原因だという。

業務用一斗缶製品（16.5キログラム）は1缶あたり500円以上、飲食店や工場などで使われるミニローリーと加工用バラも1キログラムあたり30円以上引き上げる。

引用記事

日経新聞

ロイター通信

化学工業日報

燃料油脂新聞